

市町村民生委員児童委員協議会会長への  
知的障害のある人への理解に関するアンケート調査結果

		知っている	知らない	
1	知的障害とはどのような障害をご存知ですか	32	1	
		いる	いない	
2	身近に知的障害者のある人はいますか	21	12	
		ある	ない	
3	知的障害のある人と話をしたことがありますか	29	4	
		なくなった	なくなっていない	わからない
4	知的障害のある人への差別や虐待はなくなったと思いますか	1	25	7
		知っている	知らない	
5	平成31年4月1日に「群馬県障害を理由とする差別解消に関する条例」が施行されたことを知っている	13	20	
		知っている	知らない	
6	知的障害のある人と接する際に必要な配慮についてご存知ですか	18	15	
		知っている	知らない	
7	知的障害のある人が、日常生活の中で、どのようなことに困っているをご存知ですか	17	16	
		ある	ない	
8	知的障害のある人への支援活動、ボランティア活動に参加したことがありますか	16	17	
		ある	ない	
9	知的障害者施設や福祉作業所を見学や訪問したことがありますか	28	5	
		そう思う	そう思わない	わからない
10	知的障害のある人の就労機会を拡大していくべきだと思いますか	31	2	0
		そう思う	そう思わない	わからない
11	社会全体が知的障害のある人への理解を深める努力をもっと行うべき	32	0	1
		そう思う	そう思わない	わからない
12	障害の有無にかかわらず、全ての人が地域で共に暮らせる共生社会の実現に向けて社会全体がもっと努力するべきだと思いますか	32	0	1
		記入あり	記入なし	
13	知的障害のある人について、考えてることや感じていること	22	11	
		記入あり	記入なし	
14	知的障害のある人への理解を深めるために、どのような取組が必要だと思いますか	24	9	
		記入あり	記入なし	
※	知的障害を理解するためにハンドブックについてのご意見、ご感想	16	17	

## 市町村民生委員児童委員協議会会長への 知的障害のある人への理解に関するアンケート調査結果

### 設問13

あなたが、日頃、知的障害のある人について考えていることや感じていることがあれば自由にご記入ください。

1	仕事を通じて知的障害のある人と接したことがあります。極めて普通に、また相手の考えていることをさぐりながらの接し方になります。
2	知的障害のある子どもを持つ親は大変かと思えます。子どもが自立できる教育が施されることが必要かと思えます。
3	施設等で一緒に活動する時間をつくり、顔見知りの関係をつくり話し易い、又声を掛け易い関係を作り、施設以外でのあいさつや笑顔での合図ができるように心掛けます。
4	障害者が集まって仕事をする場の確保とその賃金のレベル向上。
5	民生委員がかかわるケースは、どうしても問題行動がからんでいて、「困った人」という印象になりがちです。ご家族も以前程ではありませんが本人を表に出したがらず余計に溝ができてしまっている状態です。
6	直面したことがなく思いつきません。
7	障害があっても自分で出来る仕事に汗を流し責任を持って取り組む姿はすばらしいです。
8	小学校、中学校において特別支援クラスを担当する先生方が知的障害児教育の専門教育を受けていないケースがあります。※一般クラスを担当出来ないレベルの先生がまわされることも多く、専門性の高い先生に変わってからのすごく伸びた例があります。
9	積極的に社会に出て他人と触れ合う機会を作って行くと理解も深まり、良いと思えます。
10	色々の分野で知的障害のある人との関わりが必要です。
11	民児委員として、担当地域にお住まいの方々を自立した生活がおくれるように見守っていきたいと思えます。また、民児協全体として、関係機関と連携し、福祉制度の利用促進を通じて将来安心して生活が送れるよう支援できればと思えます。
12	知的障害者の自立への仕事
13	全ての人がお互いを認めあえる社会(共生社会)を目指します。
14	普通に接する事が一番と思えます。
15	差別や偏見以前に接し方が良くわからないと云う実態があるのではないかと思います。障害によっても接し方が異なる難しさがあると感じています。
16	地域社会が障害について理解し本人や家族が平穩に過ごせるよう配慮できることが望まれます。
17	地域で共に健常者、障害者が普通に生活できる環境の構築が理想ですが現実には非常に難しく差別や偏見が横行している社会であります。どの人にもある“生きる権利”というものを、もう一度大切に考える機会を喚起することの大切さを思えます。障害児の親御さん達は会合を持って活動していらっしゃるの、時々は一緒に混ぜてもらって活動したいです。
18	近づきにくく、どう接していいか学ぶ機会が無いと動揺してしまいます。接した経験のある人は偏見を持たずに相手の心の中に入っていきように接しています。心を開いて接することで自立の方向へのお手伝いことができました。

## 市町村民生委員児童委員協議会会長への 知的障害のある人への理解に関するアンケート調査結果

### 設問13

あなたが、日頃、知的障害のある人について考えていることや感じていることがあれば自由にご記入ください。

19	少しでも自分より不得手な部分を持っている人を探して、優位に立とうとしている人が増えてしまった社会では困難な事が多いと思います。大変な時代になってしまったのではと思います。 親が健在であれば、作業所等に通り自立とまではいなくても何とかかなと思います。親が逝った後、自分が高齢になってしまった人はどのような生活をされているのでしょうか。不勉強の身が恥ずかしく思います。
20	「何か自分と変わっている人だ。」と考え、近づきたくないと思っている人が多いと思います。個性だと考え、普通に接触できるような理解が必要だと思います。
21	知的障害のある人も、ない人達と同様に長い人生を生き抜いていく為には、身近な人はもちろん社会全体がソフト、ハード両面で支援する必要があると思います。
22	障害のあるなしに関わらず、全ての方々が幸福でいられる社会にしたいと思います。

# 市町村民生委員児童委員協議会会長への 知的障害のある人への理解に関するアンケート調査結果

## 設問14

あなたは、知的障害のある人への理解を深めるためにどのような取組が必要だと思いますか。  
意見やアイデアがあれば自由にご記入ください。

1	知的障害の種類が多く、難しいです。
2	知的障害のある人たちを隔離しないで、共存できる場作りが必要ではないでしょうか。 知的障害の種類によっては、特化したものを、もっている人もいますので、それを生かせる場が必要と考えます。
3	時間の共有から作業、活動を共に行い共感や信頼関係をつくること。コロナ禍でも時間設定や場所を配慮し出来るだけ知り合い信頼できる関係を保つことが大切です。
4	個人宅での支援は難しいと思うので施設訪問やイベント開催等による機会をとらえて理解をすすめる。 仕事支援のお願い等の依頼を一般向けに働きかける。
5	子どもの頃から、ご家族がもう少しオープンになれないものかなと感じます。地域も教育等により(本人も子どもも)特性を理解したり、何より1人1人の障害を受け入れる為にいろんな機会に関わりを持てればと思います。
6	福祉の原点は、世の中の人すべてが同じ様に暮らせる社会ということだと思います。しかし、民生委員は地域に於いてすごい勢いで、進行している高齢化により現実の見守りとして悲しいかな障害者(引きこもり)より優先される思いがあります。専門の組織として別に立ち上げるのも一つの方法だと思います。
7	当市民児協では、総会前に場所を指定し、障害者施設での物品販売を開催し、委員の理解と支援を続けています。
8	小学校のうちから障害に対する教育(正しく知る)が必要です。正しく知らないことから偏見や差別が生まれます。
9	障害をもった人とふれあいを多く持つことで理解を深めることができます。例としてはイベントへの出展、行事への参加、物品の販売などが考えられます。
10	理解を踏まえた上で身近な施設、学校等で知的障害のある人との関わりを直接ボランティアとして出来る必要があると考える。私共では、1年間に必ず1回~2回全員が施設と調整し参加しています。
11	自立して生活ができるように、福祉の制度の周知が必要だと思います。 相談事業等を開催してもらい、少しでも心配なことがなくなり暮らしていけるよにしたいと思います。
12	身近に障害者相談支援事業所が無く、近くに必要であると感じます。
13	障害のある人が活躍する場をもっと広げるべきです。
14	地域にある福祉作業所でイベントに出品する為に一緒に作業した事がありますが、皆さん明るく最初から打ち解けることができました。接する機会を地域で多く作ってほしいと思います。
15	やはり地域の中で生活していただき、個人の実態や程度に合わせた理解、取組を広げてゆくことが最良であると思います。
16	障害者がひきこもることなく、社会生活を送れるよう障害に対する周囲の理解が必要と考えます。ハンドブック等を活用してより積極的な広報活動が必要と思います。

# 市町村民生委員児童委員協議会会長への 知的障害のある人への理解に関するアンケート調査結果

## 設問14

あなたは、知的障害のある人への理解を深めるためにどのような取組が必要だと思いますか。  
意見やアイデアがあれば自由にご記入ください。

- |    |  |
|----|--|
| 17 | ボランティア活動でもよいから、知的障害の人に接する機会を多くの人に作ったらどうでしょうか。  |
| 18 | 具体的には福祉の取組は多く、これに取り組む方々は本当に頭がさがります。一部の人の理解だけでなく、多くの人に知ってもらう為にもっと啓蒙活動に努めて欲しいと思います。行政に働きかけて、法の日みたいな障害者に対する理解を深める日を制定することも一案かと思っています。 |
| 19 | 家族や施設だけでなく、地域でも受け入れられるようになる為に勉強会が必要ではないかと思っています。<br>(知識を含め)<br>地域ごとのサロンなど、障害のある人を含め色々な人達とのふれあいが出来る場所を作ることが必要だと思います。                |
| 20 | 足りない部分を補い合う、異なる個性を認め合える社会を目指さねばとは思いますが、知恵は浮かびません。  |
| 21 | 世の中には色々な人がいるという周知、理解が必要と思います。  |
| 22 | 小、中学校から知的障害のある人といろんな行動で接する機会をつくり、自然なかたちで理解を深めていければ良いと思います。   |
| 23 | 関係機関が研修会等を行い、障害をお持ちの方の現状について知ってもらう機会を設けることも一つだと思います。   |
| 24 | 今回のアンケートにあるような問題提起や考えるきっかけとなる場面が広く一般に対して与えられる場があれば良いと感じます。   |

## 市町村民生委員児童委員協議会会長への 知的障害のある人への理解に関するアンケート調査結果

同封させていただいた「知的障害を理解するためのハンドブック」についてのご意見、ご質問がありましたらご記入ください。

1	専門性の高い知識をもった人でないと難しいこともあります。誰にでも同様に接する気持ちが大切だと思います。
2	民事協で各委員に配布したいと思う内容です。
3	お互いが共に生活できる社会をつくるために理解し合えるために必要だと思います。
4	定例会等での活用を考えます。内容はわかりやすかったです。
5	わかりやすいです。最低限の知識を持てると思いますが、活字が頭に入らない年代にはいかがでしょうか？
6	冊子を拝見させて頂きました。詳細を始めて知りました。講習会等(引きこもりも含めて)を増していただければ幸いです。
7	自分で理解しているつもりでおりましたが、まだ目の届かない差別があるのかと反省し、地域共生に努力していければと思います。
8	わかりやすく表現されていると思います。ひろく理解してもらうために、皆さんにお配りしていただければと思います。
9	理解しやすくできていると思います。
10	見やすくできています。
11	会議の中で活用させていただきます。
12	知的障害について、わかりやすくまとめられています。民生委員の定例会でも紹介して活用したいと思います。
13	ハンドブックにより、わかり易く理解できますが、私の経験から実際に関わる機会は皆無といって良い程少ないです。職業としているだけでなく、もっと民生児童委員にも門戸を開いて欲しいと思っています。新任研修で基礎知識は多く学びましたが、学習のみで残念です。
14	親切、丁寧な内容に感謝です。大変参考になりました。
15	分かりやすく書かれています。全員に配布したいと思います。
16	今回のアンケートを併せて読むことで、理解が深まるように思います。